



日時：2022 年 12 月 15 日（木）19:00～20:30

会場：zoom による web 会議

出席理事：赤木 禎治、石津 智子、稲井 慶、市川 肇、今井 靖、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、落合 亮太、齋木 佳克、立野 滋、照井 克生、檜垣 高史、平松 健司、三谷 義英、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸(以上 18 名)

欠席理事：池田 智明、伊藤 浩、小川 正樹、笠原 真悟、坂田 泰史、塩瀬 明、庄田 守男、新川 武史、先崎 秀明、辻田 賢一、筒井 裕之、長坂 安子、中埜 信太郎、籾 義仁、平田 康隆、三浦 大、水野 芳子、吉松 淳(以上 18 名)

監事：松尾 浩三、森 善樹（以上 2 名）

顧問：市田 路子、丹羽 公一郎、松田 暉（以上 3 名）

1. 開会 *zoom による web 会議（事務局による出席確認：画面 ON で確認）

議決に加わることができる理事の過半数が出席し、議決可能。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）議事録の通り

報告事項 2：各委員会委員長より報告（各委員長）

- ・将来構想委員会（赤木理事）
- ・学術委員会（稲井理事） 委員会報告書参照

研究部会（檜垣理事）

新規申請なし 学術集会にて研究部会セッション開催

ウェブやメールにてさらに募集。成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワークには 5 つ程度の研究案が出ているので、今後調整を行う。

教育部会（大内理事・セミナー石津理事・山村先生）

- ・第 27 回 ACHD セミナー 盛況に終了 300 名の参加登録があった。
- ・第 28 回 ACHD セミナー 日時:2023 年 5 月 20 日(土)Web

YIA 選考部会（八尾理事）

応募 5 件から高得点の 3 件を選出。既に発表のあったように、最優秀論文 1 名、優秀論文 2 名を選出した

学術企画部会（大内理事）

成人先天性心疾患における心臓移植を考える

日時:2022 年 1 月 15 日(日) 9:00-11:00

- ・学会編集委員会（椎名委員長）

2023 年学術集会の優秀演題の投稿を進めていく。

- ・専門医制度委員会（石津理事）

試験問題作成部会（稲井理事）

first brush up が終了し、3 チームに分かれて second brush up に入っている。

3-4 月を目処に進行中

専門医認定部会（立野理事） 報告事項なし

修練施設部会（八尾理事）

修練施設数維持のためしばらくは現状を維持しながら、将来の基準案についてワーキンググループを作り検討すること必要ではないか。

- ・移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事・坂田理事）

日本循環器学会と協力し推進していく。

- ・倫理委員会（宮崎理事） 報告なし

- ・保険委員会（三浦理事・辻田理事） 委員会報告書参照

成人移行期支援連携加算の要望を継続 学会を通じて指定難病の周知

将来的に成人先天性心疾患外来診療加算が取れるようなアクションを日循と共同して検討したい。

- ・移植委員会（市川理事） 前述 日本循環器学会の移植部会の内容を報告いただいた。

- ・渉外委員会（赤木理事）（委員長 杜徳尚）

学術集会で韓国から 5 名の先生の招待しセッションを計画している。

2023 年には韓国の ACHD 学会に日本からの演者を招待する予定である。

- ・広報交流委員会(立野理事) リニューアル後に修正を行っている

- ・財務委員会(立野理事)

- ・多職種専門職委員会(水野理事)

2023 年の学術集会でワーキンググループ会議を開催する予定。

<関連委員会>

- ・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)

報告事項 3：

- ・第 24 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（檜垣理事）

鋭意準備中 Web page 参照

- ・第 25 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（上村理事）

2024/1/6 - 8 一橋講堂

- ・第 26 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（大内理事）

審議事項

1. 2022 年度決算承認・監査報告（立野理事）決算報告書参照

新規会員見積もりを多くしたため収入は予算より約 200 万少なくなったが他は予算通り。支出は予定外の業務から教育ビデオ作成と専門医関連で約 10-20 万の増加、心臓病学会や内保連のあらたな活動で管理費が予算より約 60 万増加、他は概ね予算内で、支出合計では予算より約 75 万の増加となった。

経常増減額は約 404 万であるが、今年度の専門医更新料 483 万によるもので、専門医費用として来年度に持ち越すものとなる。

森・松尾幹事より監査報告をいただき、全参加理事の賛成により承認される。

2. 2023 年度予算について（立野理事）

今年度収支を元に作成、専門医試験関係で約 324 万が見込まれ、145 万の赤字となる。これまで専門医関連ではこれまで 733 万の貯蓄があるが、今後約 10 年で枯渇する可能性があるため、専門医関連の長期収支予想を点てていく予定。

全理事に配布してご意見を頂き、次回理事会での承認を目指す

3. 機械弁の償還価格改定に係る要望書（塩瀬理事）資料あり

機械弁の価格が 5 年で半額となり、輸入が困難となるため心臓血管外科学会、胸部外科学会、小児循環器学会との連名で要望書を作成するが承認された

3. その他

NHK より移行期医療の問題について取材の要望があり、学会として協力する方向で進めることになった。

4. 次回理事会日程について

1 月 12 日(木) 16 時 00 分開始、17 時 00 分終了予定

5. 閉会